

おおさか元気広場通信

平成 30 年 11 月 20 日

平成 30 年 11 月 20 日、藤井寺市立藤井寺北小学校のおおさか元気広場を訪問しました。今回は、地域の方々と高校生のサポートによる放課後学習会「ちからタイム」の様子を見学しました。

「ちからタイム」と「げんきタイム」

宿題やプリント学習をする「ちからタイム」と、運動場で遊ぶ「げんきタイム」を交互に開催しています。

当日は、「ちからタイム」の日でした。たくさん子どもたちが参加していました。どの学年の教室も熱心に取り組んでいました。「家でするよりも、しっかりと勉強ができる」という子どももいました。地域の方や高校生が、子どもたちに寄り添ってサポートします。先生も入ってくれている教室もありました。

ちなみに「げんきタイム」は、なわとびや竹馬などのコーナーがあり、子どもたちが自由に遊ぶそうです。例えば、竹馬では、一人ひとりに合わせて横木の高さを調整して下さるなど、みんなが楽しく体験・活動できるよう地域の方々がサポートしてくださっています。

たくさんの地域の団体が連携して運営

地域の子どものために、区長会、校区リーダー協議会、子ども会、民生児童委員、青少年指導員会、PTA といった、校区内の様々な地域の団体が連携して運営しておられます。それぞれの回を団体で分担しておられ、当日は校区青少年リーダー協議会・子ども会の方が担当でした。



高校生がボランティアとして参加

近隣にある府立藤井寺高等学校の生徒がボランティアとして参加しています。1年生から3年生まで30名の登録があるそうです。みなさんとても礼儀正しく、子どもたちに丁寧に接していました。子どもたちも高校生を慕っている様子がうかがえました。



◎ ボランティアに来ていた高校生に聞きました ◎

— なぜこのボランティアをしようとおもったのですか？

- 子どもが好きだったから。
- 将来、保育や教育の仕事をめざしているから。
- この学校の卒業生で、小学生の頃、高校生のお兄ちゃんやお姉ちゃんに教えてもらっていたから、今度は私が。

— やっていてうれしかったことはありますか？

- 自分が教えたことを「わかった」って理解してもらったとき。
- 小学生と楽しく過ごしていること。
- 子どもたちの成長を感じた時。

— ちょっと困ったことはありますか？

- 言うことを聞いてくれなかったとき。
- どこまで叱っていいのか悩む時がある。

— 活動が自分にとってよいと思うことはありますか？

- 将来、保育関係に進みたいので貴重な経験になっている。
- 大学の面接でこの経験を話すときすごく関心を示してくれる。